

Anti human SALL1 mouse monoclonal antibody

SALL1: SAL-LIKE 1

製品コード	PP-K9814-00
Clone No.	K9814
Lot.	A-3
濃度	1mg/mL
容量	100 μ L
Ig class	G2a
Genbank	NM_002968

由来

ヒト SALL1 (258-499 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

Epitope

-

特異性

ヒト SALL1 と特異的に反応する。マウス SALL1 と交差反応する。その他の動物種との交差反応は未検討。

精製法

硫酸塩析法

溶媒

生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN3添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot

可

参考使用濃度 1 μ g/mL

非還元 Western Blot

未検討

参考使用濃度 -

ELISA

可

参考使用濃度 0.5 μ g/mL

免疫沈降

可

参考使用濃度 適宜調整してください

Supershift Assay

未検討

参考使用濃度 -

クロマチン免疫沈降

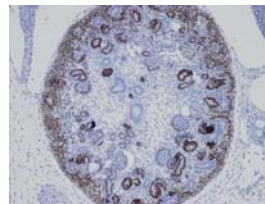
未検討

参考使用濃度 -

免疫染色

可

参考使用濃度 適宜調整してください



マウス / 14.5日胚 / 腎臓

保存方法

1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献

Nishinakamura R, *et al.*, Development, 128(16): 3105-15, 2001.
Sato A, *et al.*, Biochem Biophys Res Commun., 319(1): 103-13, 2004.
Sakaki-Yumoto M, *et al.*, Development, 133(15): 3005-13, 2006.

備考

溶媒に含まれるNaN3は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Mar 12, 2012